

2023年(令和5年)

第48号

(4月15日)

平安だより

HEIAN letter

発行所：立正佼成会 京都教会
 発行責任者：渉外部長 澤村悦玄
 編集委員長：渉外広報 植田恭司
 〒605-0041 京都市東山区三条東町230
 TEL (075)762-2211 FAX (075)762-2266

釈尊降誕会 ～三条通りに花見堂を設置、市民もお祝い～

釈尊降誕会である4月8日、京都教会では本部からのインターネット配信の式典に多くの会員が参加しました。

配信後は教会独自の式典が行われ、ご本尊勧請、辞令授与、会員教育修了証授与と続き、その後には新年生の紹介動画が上映されました。少年部手作りのその動画を見た会員からは拍手や「かわいい」といった声が聞こえました。

その後、中村教会長がお言葉を述べました。中村教会長は「長く続いたコロナ禍で、当たり前が有り得ないと感じたこと。その中で反省したり、感じたりできることは、お釈迦さまから教えを頂いたからであって、

またその教えをかみ砕いて説いて下さった開祖さま、会長先生のお陰さまで」と感謝の気持ちを表しました。そして、「日々の人生を教えに照らして送ること。それを教えて下さいました。家庭内で揉め事があっても教えに出会えたお陰さまで、お詫びが出来るようになりました」と日常生活の中に教えがあることの大切さを述べました。続けて、会員教育修了証授与にふれ、「今回の授与で『菩薩』が誕生しました」と解説。「今までは訳が分からず行っていたかもしれないが、これからは教えが分かって行じていく。つまり、終了ではなくスタートになります。菩薩行に年齢・性別は関係ありませんよ」と精進を促し結びました。



春季式典及び春季慰霊祭 ～京都市深草墓園～

3月26日、京都市深草墓園において、3年ぶりに京都市主催の春季式典が開催され、引き続き、遺族有志代表が主催し、京都府宗教連盟が協力しての春季慰霊祭が行われました。コロナ禍により、3年にわたって代表者のみが参列する形態がとられてきましたが、今年は、人数の制限はあったものの、多くの参拝者が参列し慰霊の誠を捧げられました。

本年は、金光教京都東部・西部・南部教会連合会様のご奉仕により、「霊前拝詞」の奉唱や玉串の奉てん、祭詞の奏上、「祖先賛詞」の唱和などが行われ、厳粛に儀式が執り行われました。あいにくの雨天での慰霊祭

となりましたが、木々の緑が生き生きと映え、満開のさくらの花が彩りとなって、まるで天（諸精霊）が歓び、見守っているかのようでした。



ユニセフ自然災害緊急募金活動 ～雨天の中、少年部員が声を～

京都教会少年部は3月26日、岡崎公園前でユニセフ自然災害緊急募金活動を行い、16名が集いました。あいにくの雨模様の中、教会に集まった大人6名、学生1名、子ども9名は自己紹介と今の気持ちをみんなと共有し、「雨でも行きたい!」というみんなと約30

分間、岡崎公園前で募金に立ちました。館内で入れて頂いた金額も含め、22,833円集まりました。今回の取り組みで、いろいろな人の様々な優しさが、いろいろな形で育ったように感じ、これは『雨だったからこそ味わえたんだ』と気づくと、大変有り難くなりました。

令和5年、私たちは「日々感謝 にこにこ元気に出会いたい ありのままの私から」を実践して参ります。

京都教会のホームページもご覧下さい。 <https://rkk-kyoto.jp/>